

さいたま市革新懇第3回総会アピール

安倍政権の暴走政治とそれに協力する改憲勢力、増税勢力に怒りの審判を

平和、憲法、歴史認識、暮らし、社会保障、雇用、教育、経済、産業など、国民生活のあらゆる分野で、安倍政権の暴走が激しくなっています。暮らしの問題では、消費税増税と円安による物価上昇、所得の減少により、個人消費は落ち込み、景気は冷え込んでいます。11月17日に内閣府が発表した7～9月期のGDP(国内総生産)速報値は、マイナス1.6%と2期連続のマイナス成長となり、安倍政権の経済政策・アベノミクスの破綻は決定的です。

11月16日に行われた沖縄県知事選挙での新基地建設反対を掲げたオナガ候補の圧勝に示されるように、安倍政権の戦争する国づくりに反対する国民世論も大きく広がっています。

安倍首相は解散を表明した記者会見で、経済状態に関わらず2017年4月に消費税10%増税を実施することを断言し、日本経済と国民生活を奈落の底に落としかねない亡国の政治に固執しています。これ以上、安倍政権に日本の政治をゆだねるわけにはいきません。

さいたま市民のみなさん、国民のみなさん、今度の選挙は、消費税増税、社会保障改悪、集団的自衛権行使容認、原発再稼働など安倍政権の暴走政治をストップさせるチャンスです。私たちの平和と暮らし、日本の経済・産業、民主主義を守るために、来たるべき総選挙と一斉地方選挙において、安倍政権とそれに協力する改憲勢力、増税勢力に怒りの審判を下しましょう。

私たち、さいたま市革新懇は、平和で民主主義豊かな日本、誰もがいきいきと働き、くらしていける社会の実現をめざして、さまざまな人々と手をつなぎ、政治革新の輪を広げていきたいと考えています。

2014年11月22日

平和・民主・革新の未来を開くさいたまの会(さいたま市革新懇)第3回総会

